

# APDT ラリーオビディエンス

## Level 1

レベル1のコースは、18~20枚のサインで構成される（「Start」、「Finish」及びボーナスエクササイズは除く）。レベル1はリード付きで行われる。リードはヒールポジションに犬がいる状態で、張ることなくハンドラーの手にあること。持ち手は、片手と両手のどちらでもよく、持つ位置はコース内で変わってもよい。ハンドラーは、サインの置かれている、約60cm~120cm以内でパフォーマンスする。




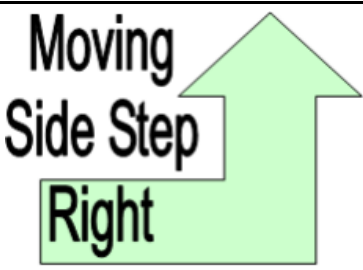
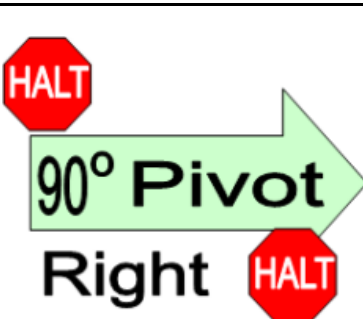
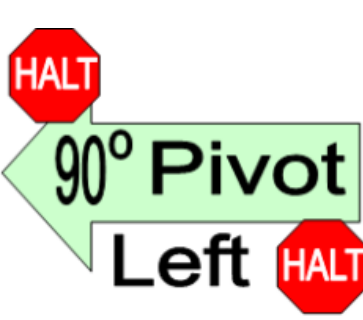
### レベル1 エクササイズ内容

	<p>1. 止まれ（おすわり）</p> <p>ハンドラーは停止し、犬をヒールポジションに座らせる。この時、犬が自発的に座っても号令によって座らせても良い。犬が座ったら次に進む。</p>
	<p>2. 止まれ（おすわり）ー立って</p> <p>ハンドラーは停止し、犬をヒールポジションに座らせる。この時、犬が自発的に座っても号令によって座らせても良い。犬が座ったら、ハンドラーは犬を立たせる。この時、犬を立たせたり待たせたりするために、ハンドラーが犬の体に触ったり、ヒールポジションから外れてもよい。ただし、無理に立たせないこと。犬が立ちあがり、ハンドラーがヒールポジションに戻ったら次に進む。</p>
	<p>3. 止まれ（おすわり）ーふせ</p> <p>ハンドラーは停止し、犬をヒールポジションに座らせる。この時、犬が自発的に座っても号令によって座らせても良い。犬が座ったら、ハンドラーは犬を伏せさせる。犬が伏せたら次に進む。</p>

	<p><b>4. 止まれ（おすわり）ーふせーおすわり</b></p> <p>ハンドラーは停止し、犬をヒールポジションに座らせる。この時、犬が自発的に座っても号令によって座らせても良い。犬が座ったら、ハンドラーは犬を伏せさせる。犬が伏せたら、ハンドラーはもう一度犬を座らせる。犬が座ったら次に進む。</p>
	<p><b>5. 止まれ（おすわり）ー犬のまわりを回る</b></p> <p>ハンドラーは停止し、犬をヒールポジションに座らせる。この時、犬は自発的に座っても号令によって座らせても良い。犬を待たせて、ハンドラーは反時計回りに犬のまわりを回り、ヒールポジションに戻る。ハンドラーは、ヒールポジションで一時停止しても、すぐに前進してもよい。犬は、待ってをかけられてからハンドラーがヒーリングで前進するまでおすわりを保たなければならない。</p>
	<p><b>6. 止まれ（おすわり）ーふせー犬のまわりを回る</b></p> <p>ハンドラーは停止し、犬をヒールポジションに座らせる。この時、犬は自発的に座っても号令によって座らせても良い。犬が座ったら、ハンドラーは犬を伏せさせる。犬を待たせて、ハンドラーは反時計回りに犬のまわりを回り、ヒールポジションに戻る。ハンドラーは、ヒールポジションで一時停止しても、すぐに前進してもよい。犬は、待ってをかけられてからハンドラーがヒーリングで前進するまでふせを保たなければならない。</p>
	<p><b>7. 右へ進め</b></p> <p>90° 右へ曲がる。</p>
	<p><b>8. 左へ進め</b></p> <p>90度° 左へ曲がる。</p>

 <p><b>About Turn Right</b></p>	<p>9. まわれ右 180° 右に回転する。</p>
 <p><b>About "U" Turn</b></p>	<p>10. まわれ左 180° 左に回転する。</p>
 <p><b>270° Right</b></p>	<p>11. 270° 右に回転 右まわりに270° 回転する。</p>
 <p><b>270° Left</b></p>	<p>12. 270° 左に回転 左まわりに270° 回転する。</p>
 <p><b>360° Right</b></p>	<p>13. 360° 右に回転 右まわりに360° 回転する。回転はフラフープ程度の大きさであること。</p>
 <p><b>360° Left</b></p>	<p>14. 360° 左に回転 左まわりに360° 回転する。回転はフラフープ程度の大きさであること。</p>

	<p><b>15. 正面でおすわり—右から後ろをまわって前進</b></p> <p>ハンドラーは前進をやめて犬を正面に座らせる。この時ハンドラーは、犬を正面に呼び込むために3~4歩後退しても良い。犬が座ったら、ハンドラーの後ろを通過して時計回りにハンドラーの左側へ進ませる。犬がハンドラーの左側まで来たら、ハンドラーと一緒に次へと前進する。犬はヒールポジションで座らないこと。ハンドラーは、犬がまわりを回っている間は足を動かしてはいけない。</p>
	<p><b>16. 正面でおすわり—左から回り込んで前進</b></p> <p>ハンドラーは前進をやめて犬を正面に座らせる。この時ハンドラーは、犬を正面に呼び込むために3~4歩後退しても良い。犬が座ったら、ハンドラーの左側へ、回り込んで前を向くように移動させる。犬がハンドラーの左側まで来たら、ハンドラーと一緒に次へと前進する。犬はヒールポジションで座らないこと。ハンドラーは、犬が移動している間は足を動かしてはいけない。</p>
	<p><b>17. 正面でおすわり—右から後ろをまわって停止</b></p> <p>ハンドラーは前進をやめて犬を正面に座らせる。この時ハンドラーは、犬を正面に呼び込むために3~4歩後退しても良い。犬が座ったら、ハンドラーの後ろを通過して時計回りにハンドラーの左側へ進ませた後、ヒールポジションで座らせる。犬が座ったら次に進む。おすわりは犬が自発的に座っても号令によって座らせても良い。ハンドラーは、犬が正面からヒールポジションへ移動して座るまでの間は足を動かしてはいけない。</p>
	<p><b>18. 正面でおすわり—左から回り込んで停止</b></p> <p>ハンドラーは前進をやめて犬を正面に座らせる。この時ハンドラーは、犬を正面に呼び込むために3~4歩後退しても良い。犬が座ったら、ハンドラーの左側へ、回り込んで前を向くように移動させた後、ヒールポジションで座らせる。犬が座ったら次に進む。おすわりは犬が自発的に座っても号令によって座らせても良い。ハンドラーは、犬が正面からヒールポジションへ移動して座るまでの間は足を動かしてはいけない。</p>

	<p>19. ゆっくり</p> <p>通常より明らかに遅い速度に落とす。このサインで速度を落とし、「Normal Pace」のサインまで継続すること。</p>
	<p>20. 速く</p> <p>通常より明らかに速い速度に上げる。速度は、少なくとも駆け足になる程度であること。このサインで速度を上げ、「Normal Pace」のサインまで継続すること。</p>
	<p>21. 普通に</p> <p>通常速度に戻る。</p>
	<p>22. 前進しながら右にサイドステップ</p> <p>ヒーリングのまま、ハンドラーは右斜め前に一歩右足を運び、そのラインに沿って左足も右斜め前に運ぶ。犬はハンドラーと一緒に移動しなくてはならないが、きちんとしたサイドステップである必要はない。</p>
	<p>23. 止まれ（おすわり）-90° 右向け右-止まれ（おすわり）</p> <p>ハンドラーは停止し、犬をヒールポジションに座らせる。犬が座ったら、ヒーリングの指示を出しながら右に90° 体の向きを変え、ハンドラーの動きの完了に合わせてヒールポジションで座らせる。おすわりは、犬が自発的に座っても号令によって座らせても良い。ハンドラーは、紙皿程度の範囲内で体の向きを変えること。犬が座ったら次に進む。</p>
	<p>24. 止まれ（おすわり）-90° 左向け左-止まれ（おすわり）</p> <p>ハンドラーは停止し、犬をヒールポジションに座らせる。犬が座ったら、ヒーリングの指示を出しながら左に90° 体の向きを変え、ハンドラーの動きの完了に合わせてヒールポジションで座らせる。おすわりは、犬が自発的に座っても号令によって座らせても良い。ハンドラーは、紙皿程度の範囲内で体の向きを変えること。犬が座ったら次に進む。</p>

	<p><b>25. 右回りにスパイラル（犬は外側）</b></p> <p>このサインでは、150cm間隔で直線に並べられた3つのコーンの周りをまわる。 まず3つすべてのコーンを時計回りにまわって戻り、次に手前から2つのコーンを同様にまわって戻り、最後に1つ目のコーンをまわる。出る方向は、次のサインの場所によって決まる。ペーパークリップの形のような動き方となる。</p>
	<p><b>26. 左回りにスパイラル（犬は内側）</b></p> <p>このサインでは、150cm間隔で直線に並べられた3つのコーンの周りをまわる。 1つ目のコーンが左側にある状態から、まず3つすべてのコーンを反時計回りにまわって戻り、次に手前から2つのコーンを同様にまわって戻り、最後に1つ目のコーンをまわる。出る方向は、次のサインの場所によって決まる。ペーパークリップの形のような動き方となる。</p>
	<p><b>27. 止まれ（おすわり）－1歩、2歩、3歩進んで止まれ（おすわり）</b></p> <p>ハンドラーは停止し、犬をヒールポジションに座らせる。犬が座ったら、ハンドラーはどちらかの足で1歩前進し、両足をそろえて止まる。犬はハンドラーについて動き、ハンドラーが止まると同時にヒールポジションで座る。同様に、ハンドラーは2歩、3歩と前進して両足をそろえて止まり、犬も同様に動いて座る。3歩まで完了したら次に進む。おすわりは、犬が自発的に座っても号令によって座らせても良い。</p>
	<p><b>28. 止まれ（おすわり）－右向きに1歩進んで止まれ（おすわり）</b></p> <p>ハンドラーは停止し、犬をヒールポジションに座らせる。ハンドラーは犬にヒーリングの指示を出し、90° 右を向いてしっかりと1歩出て止まる。犬は、ハンドラーの動きの完了に合わせて座る。おすわりは、犬が自発的に座っても号令によって座らせても良い。犬が座ったら次に進む。</p>
	<p><b>29. 直線状の8の字</b></p> <p>このサインでは、150cm間隔で直線に並べられた4つのコーンの周りをまわる。 1つ目のコーンが左側にある状態から、コーンの間を蛇行して進み、最後のコーンをまわって蛇行して戻る。出る方向は、次のサインの場所によって決まる。</p>
	<p><b>30. 蛇行</b></p> <p>このサインでは、150cm間隔で直線に並べられた4つのコーンの周りをまわる。 1つ目のコーンが左側にある状態から、コーンの間を蛇行して一方方向だけ進む。出る方向は、次のサインの場所によって決まる。</p>

## レベル1 ボーナスエクササイズ内容

ボーナスエクササイズでは、追加ポイントを獲得できる。コース内でNQとなってしまったパフォーマンスは、ボーナスエクササイズも0ポイントとなるが、合格点であれば、ボーナスとして適用される。ボーナスエクササイズは、リトライはできない。

<p style="text-align: center;"><b>BONUS</b></p> <p style="text-align: center;"><b>Halt Leave Dog</b></p>	<p><b>ボーナスエクササイズ1.</b> <b>止まれ（おすわり）ー犬から離れるーヒールポジションに呼ぶ</b></p> <p>このエクササイズは2つのサインからなる。最初のサインでハンドラーは停止し、犬をヒールポジションに座らせる。この時、犬は自発的に座っても号令によって座らせても良い。犬が座ったら、ハンドラーはリードを落とすもしくは外して手に持つ。犬を待たせて2つ目のサインまで進んで停止し、振り返ることなくヒールポジションに犬を呼んで座らせる。この時ハンドラーは、若干頭を振り返らせても良いが、肩と体はまっすぐ前を向いていること。また犬を呼び込んでいる間は、足を動かさないこと。犬は、呼ばれるまで座り続けていなければならないが、呼ばれたらすぐに来ること。犬が座ったら、ハンドラーはリードを拾う、もしくは付けるかして、このエクササイズは完了となる。</p>
<p style="text-align: center;"><b>BONUS</b></p> <p style="text-align: center;"><b>Call To Heel</b></p>	<p><b>ボーナスエクササイズ2.</b> <b>正面でおすわりー右もしくは左にサイドステップ</b></p> <p>ハンドラーは前進をやめて犬を正面に座らせる。この時ハンドラーは、犬を正面に呼び込むために3~4歩後退しても良い。犬が正面で座ったら、ハンドラーは右もしくは左に、しっかりと一歩横歩きで移動する。この時、ハンドラーは後ろに下がってはいけない。犬はきちんとしたサイドステップを込む必要はないが、ハンドラーと同時に移動し、ハンドラーが停止したらハンドラーの正面でまっすぐに座らなければならない。犬が座ったらこのエクササイズは完了となる。</p>
<p style="text-align: center;"><b>BONUS</b></p> <p style="text-align: center;"><b>Halt Leave Dog Recall</b></p> 	<p><b>ボーナスエクササイズ3.</b> <b>止まれ（おすわり）ー犬から離れるー呼び戻して正面におすわりー右もしくは左からヒールポジションへ</b></p> <p>このエクササイズは2つのサインからなる。最初のサインでハンドラーは停止し、犬をヒールポジションに座らせる。この時、犬は自発的に座っても号令によって座らせても良い。犬が座ったら、ハンドラーはリードを落とすもしくは外して手に持つ。犬を待たせて2つ目のサインまで進み犬と対面し、一瞬停止した後、犬を呼んで正面に座らせる。犬が座ったら、ハンドラーの判断で、右側からハンドラーの後ろを通って、もしくは左側から回り込んで前を向くように犬をヒールポジションに座らせる。呼び戻し中、また正面からヒールポジションへ移動して座るまでは、ハンドラーは足を動かしてはいけない。犬が座ったら、ハンドラーはリードを拾う、もしくは付けるかして、このエクササイズは完了となる。</p>
<p style="text-align: center;"><b>BONUS</b></p> <p style="text-align: center;"><b>Turn and Call Finish R/L</b></p> 	